

「皆様の声」をお聞かせください。

FUJITSUファミリー会をもっと楽しく活用していただくための
さまざまな情報をご提供します。



「会報Family」350号を記念して

会報担当常任理事 **野口 雄志** 日本通運(株)



「次の会報が出るのは、秋だからこんな表紙が良いでしょう」
「この部分ですが、いろいろな層の人に見て頂くので表現を少し変えましょう」
約2カ月に1度、こんなやり取りが続く「会報Family編集会議」が行われています。そして2013年1月1日号で350号を迎えることになりました。このように長い間続けることができましたのは、今までの多くの編集委員の皆様がしっかりと継承してきた「ファミリー会員である読者に分かり易く」を合言葉に、毎号知恵を出し合っただけでなく、関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。

現編集委員の皆様とは、ご一緒に担当することになり既に5年になります。気心が知れているというわけではありませんが、懇親会の楽しさは格別です。日ごろの編集会議とは打って変わって多くの話題や「駄洒落」の飛び交う、笑い顔と大きな笑い声の絶えない懇親会になります。あまりにも、楽しい会になるのでつい飲みすぎでしまいます。

このONとOFFの時間や話題の共有が「会報FAMILY」作りに活かされていると感じています。編集委員長、副委員長をはじめ委員の方々、事務局の方々が「会報FAMILY」を楽しく作ることに、その楽しさが「会報Family」を通じて会員の皆様にお伝えすることができれば素晴らしいことだと思っています。

これからも私たち編集委員は、楽しい「会報Family」を皆さんにお届けするために、心を込めて会報を発行いたします。そして、皆様のお手元に届いたときに、読者の皆様も紙面から是非その楽しさを感じていただきたいと思っております。

「会報Family」でFamilyの絆、Familyの力強さ、そしてFamilyの楽しさを共有したいと思っております。

今後ともよろしくお願ひ致します。

NEW FAMILY

(9～10月度ご入会分)

- 北海道 (株)青山
デュアルカナム(株)
雪印種苗(株)
- 関東 三木プーリ(株)
(株)明治
(株)ウチダ人材開発センタ
コンピューターサイエンス(株)
三井不動産リアルティ(株)
社会医療法人恵生会黒須病院
(株)マルハン
- 北陸 三協立山(株)
- 東海 リスバック(株)
- 関西 (株)アーネスト
学校法人関西大学
環境計測(株)
中井機械工業(株)
- 九州 日鐵運輸情報システム(株)



支部のイチオン! 東北支部

<http://jp.fujitsu.com/family/sibu/touhoku/>

東北6県それぞれの地区で企業視察会 ～地域を学ぼう!～

東北支部からは、会員の皆様から年々開催希望の声が増えている企業視察会をご紹介します。

<エネルギーを学ぼう!>をテーマとした青森・秋田地区

青森では、太陽光発電所メガソーラー施設と、その形状から「八戸キャニオン」と呼ばれる住金鉱業(株)様の八戸石灰鉱山を、秋田では日本有数の地熱賦存地帯「湯沢地区」の地熱エネルギー関連施設を見学。地元においても訪れる機会が少ない施設を見学でき、また地元のエネルギー資源の恵みと規模の大きさを初めて実感するなど、地元への興味を膨らませた有意義な視察会になりました。

<ものづくりを学ぼう!>をテーマとした岩手・宮城地区

岩手では初の県外での視察会を実施。「ものづくりを学ぼう!」をテーマに訪問した富士通アイソテック(株)では、ものづくりからリサイクルまでを担う現場を見学し、作り手が使い手に託す想いや真剣さに、参加者はある種の感動を覚えたようでした。宮城では「富士通セミコンダクター(株)会津若松工場」へ。クリーンルームにも入室し、徹底した品質管理に驚くと同時に、震災を乗り越え頑張っている様子に感銘を受けたとの声を多数いただきました。

そして山形・福島では、アウトソーシングサービスや次世代クラウドサービスのビジネス基盤の中核である「富士通館林システムセンター」新棟の合同視察会を実施、先端のICT技術の必要性を再認識しました。

それぞれの地域を学びかつ交流を深めながらの企業見学会は、「ファミリー会」ならではの異業種交流の場としてもご活用いただいています。東北支部では、「会員の皆様のお声を形に!」をモットーに「各地域の特色をいかした活動」をとおして、会員の皆様とのふれあいも大切に魅力溢れる活動を目指しています。



富士通アイソテック見学



富士通セミコンダクター 会津若松工場見学

2013年秋季大会は東海で開催



太古のロマンと歴史の息づく東海で 皆様のお越しをお待ちしております

東海支部長
楠井 博敦 氏 (アイシン精機株式会社)



2012年度FUJITSUファミリー会秋季大会は、本土復帰40周年を迎えられた沖縄の地にて、1,000名近くの皆様にご参加いただき、大盛況のうちに終了いたしました。

沖縄に因んだご講演や、沖縄の祝儀舞踊「かぎやで風」、伝統舞踊「エイサー」「カチャーシー」など趣向を凝らした演出に、企画運営を実行された金城支部長はじめ沖縄支部役員や事務局の皆様のご苦労やご尽力がうかがえます。心のこもった温かいおもてなしに大変感動いたしました。

来年度は、11月に名古屋市にて秋季大会を開催いたします。2013年は、20年に一度行われる伊勢神宮の式年遷宮の年にあたります。その記念すべき年に皆様を東海にお迎えできることを大変嬉しく思います。

前回の東海開催から11年経ち、今、名古屋駅周辺は再開発が進み、シンボルのミッドランドスクエアをはじめ高層ビルが立ち並ぶスタイリッシュな東海の玄関に変貌しております。一方で、東海は信長・秀吉・家康の三英傑を生んだ戦国時代ゆかりの地として知られていま

す。新しい東海と、歴史の息づく東海の両方を体験していただけるような企画を計画中です。沖縄支部の企画に負けぬよう、東海支部役員皆で知恵を絞り頑張りたいと考えております。

全国の皆様と東海の地でお会いできますよう、東海支部一同心からお待ちしております。

FUJITSUファミリー会 2013年度秋季大会 (ご案内)

●開催期日：2013年11月7日(木)～8日(金)

●開催場所：名古屋国際会議場
愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番1号

<http://www.nagoya-congress-center.jp/>



2012年度海外セミナー [米国] レポート

FUJITSU ファミリー会事務局 福田 信之

●期 間：2012年10月21日(日)～28日(日) [6泊8日]

●訪問先：サンフランシスコ、シアトル (米国)

2012年10月21日(日)～28日(日) 6泊8日で米国サンフランシスコとシアトルにて海外セミナーを実施しました。今回はサンフランシスコで合流した東島様を団長に迎え、羽田からご対応頂いた明治安田システム・テクノロジーの高橋様を副団長として、総勢15名での開催となりました。

前半の3日間は、サンフランシスコをベースにシリコンバレーへ出向き、米国富士通研究所 (FLA) とスタンフォード大学で研修しました。そこでは最先端のICTトレンドとしてスマートデバイスやクラウドの利用に関する研究や取り組みをご紹介頂きました。特に世界で活躍する屈指の人材を輩出するスタンフォード大学では、OpenFlowというツールを使用することで過度にセキュリティを考慮することなく、操作性や安全性を維持しながら、起業を志す学生を支援する取

り組みをご紹介頂きました。

企業視察では salesforce.com社 とeBay社を訪問しました。グローバルでの企業競争力向上のために、セキュ



eBay社訪問時、社屋前で全員の集合写真

リティバランスを維持しながらICTを積極的に使用して、従業員の能力を最大限に活用する取り組みをご紹介頂きました。

後半のシアトル港湾局訪問は、当初予定していなかった訪問先であったものの、大変先進的な事例をCIOのPeter Garloc氏よりご紹介頂きました。特にシアトル・タコマ国際空港の評判は利用者間で広がっていて、そのシステムを支える取り組みをどのように構築し、サービスされているのかを熱い想いで語って頂きました。この取り組みは日本の企業やICTに関わる行政関係者にも大いに参考になる事例です。今後FUJITSUファミリー会やLS研の会員の皆様にご紹介できる機会を何らかの形で企画したいと考えています。

最後にここ数年グローバルでアジアに対する期待が増大し、アメリカの存在感が微妙に変化してきているところがありますが、ICTに関する先端的な取り組みを研修する場としては、米国がやはり一歩リードしているという印象です。2013年度の「海外セミナー」には、多くの会員の皆様にご参加頂けますよう、よろしくお祈りします。



老舗「John's Grill」のステーキ

シアトルに向かう途中



表紙のこぼ (世界遺産シリーズ)

フランス パリのセーヌ河岸
1991年ユネスコ世界文化遺産登録

「パリのセーヌ河岸」は、フランスの首都・パリを流れるセーヌ川に架かるシュリー橋からイエナ橋までの約8kmに及ぶ河岸地域。古代ローマから近代に至る建造物や橋、公園などが世界遺産に登録されている。その中のひとつ、ルーヴル宮殿(中央)は、12世紀末にパリの要塞として建造された。現在は、フランス王室のコレクションを公開しているルーヴル美術館として、観光客にも親しまれている。ルーヴル美術館中庭には、ルイ14世の騎馬像が建っている。

わたしのおすすめ

最近凝っていること、これぞ私のライフワーク! など、あなたのおすすめを文章と写真でご応募ください。原稿を掲載させていただいた方には、図書カード(3,000円分)を差し上げます。

家族で三宅太鼓!



齊藤 良太 日揮情報システム(株)(神奈川県横浜市)

家族3人で三宅島を発祥とする三宅太鼓を習っています。

和太鼓は叩けば音がなる親しみやすい楽器ですが、シンプルな分、奥深さを探求できる楽しさがあります。

三宅太鼓は、腰を落とした低い姿勢で、地面に近い低位置に据えられた太鼓に、全身を使って二人で打ち込みをします。

練習は月3回2時間たっぷり叩きますので、ストレス解消だけでなく、楽しく全身運動をしたい方にも、とてもお勧めです。

和太鼓教室は、私のように家族で通っている方が多いのも特徴的です。

世代間の関係が希薄な現代においては、一つの楽器を通して、老若男女が繋がりが合えることも素晴らしいと思います。

これが和の文化を支える和太鼓の醍醐味なのかもしれません。

三宅太鼓教室は都内近郊に数か所ありますので、ぜひ一度体験されてみてください。



クラシックギターの魅力



川田 隆夫 PFU北海道(北海道札幌市)

毎朝6時に起床し、朝食をとり、出社の身支度を済ませ7時頃から50分ほどギターの練習をします。かれこれ10年以上は続けています。ギターは「小さなオーケストラ」と言われ、メロディラインと伴奏を同時に演奏できる楽器です。練習しながら、少しずつ演奏できるようになってゆく過程も、また楽しいものです。

レパートリーは、クラシック曲以外に、映画音楽やジャズもあります。また、若かりしころに大いに影響を受けた荒井由美の曲も演奏

します。年齢とともに暗譜が難しくなり、新しい曲は楽譜を見ながらの演奏も多くなっていますが、指を動かすことは若さを保つ秘訣とのことで長く続けたいと思っています。

クラシックギターはまだマイナーな楽器ですが、魅力はなんといってもその音色でしょうか。この楽器のために書かれた曲がたくさんあります。まだ聴いたことがない、すばらしい音楽を知ってもらいたい。そんな理由で、ライブハウスやスナックで月に1回は演奏させてもらっています。映画音楽やハヤリの曲が中心となりますが、クラシックを数曲演奏すると、「こういう曲もあるんだ」と熱心に聴いていただけて本当にうれしく思います。



私の目標は、毎年ステージで演奏し、皆さんに聴いて頂くこと。今年で12年になりますが20年目は迎えたいと練習に励んでいます。

運動不足を自転車で解消



坂本 浩信 スパークジャパン(株)(宮崎県宮崎市)

健康志向・エコ意識の向上により自転車が注目を集めています。私も自転車を使い始めて1年が経過しました。自転車に乗ろうと思ったきっかけは、ありがちですが運動不足を解消しようと思ったことが理由です。自転車を購入する際に、長続きしなかったら(妻に怒られる)・・・などいろいろ考えた結果、クロスバイクを購入しました。

乗り始めのころは、スポーツタイプの自転車はサドルが高い・固いのでなかなか長時間自転車に乗ることができませんでした。最近で

は長い時間自転車に乗ることに慣れ、ペダルリングや自転車に乗る姿勢などを意識して自転車に乗っています。体重は変わりませんが、以前よりも体が軽くなったように思えます。

現在自転車に乗っている人が多くなってきていますが、自転車のマナーを守っていない人が多く見受けられます。歩道を走る人が多いですが、道路交通法上は自転車は車両と位置付けられているので、歩道と車道の区別しているところでは車道を通るのが原則です。また、学生が携帯電話を操作しながら自転車に乗っている姿もよく見かけますが、とても危険な行為です。自転車は軽車両だということを自覚し、事故などを未然に防ぐためにもルールを守ることが必要だと思います。



自転車は走る事よりも体に負担をかけずに手軽に始めることができます。自転車に乗ってすぐに運動不足が解消されるわけではありませんが、何事もきっかけが大事だと思います。

運動不足解消のために始めてはいいかがでしょうか。

投稿募集

- 文章600字以内 Word文書または、シンプルテキスト
- 写真: JPEG画像等
- 送付先: ファミリー会事務局 contact-familykai@cs.jp.fujitsu.com

記事掲載にあたり、会員企業(団体)名、お名前、所在地(市町村)を掲載させていただきます。また、投稿者多数など、誌面の都合上掲載できない場合がございます。予めご了承ください。